

気づいていますか？ 職場での **転倒** リスク

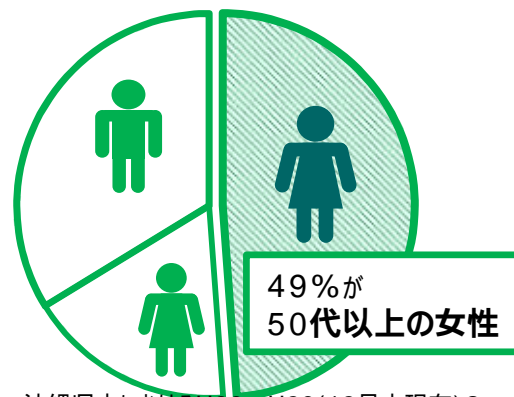
女性のための転倒防止対策を！

多い中高年女性の転倒

近年、職場での転倒が増えています。その件数（休業4日以上[※]の労働災害を集計）は年間200件（人）を超え、10年前の約1.7倍です。

実は、その**約5割が50代以上の女性**です。

就業者全体に占める中高年齢者の割合が増えている、**労働力人口の高齢化が今後進む中**、職場での転倒予防対策が今求められています。



・沖縄県内におけるH26～H28(12月末現在)の労働者死傷病報告より

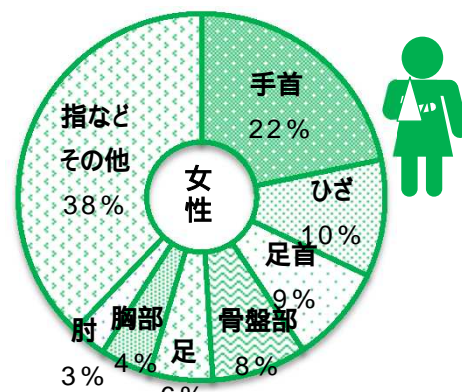
重症事故になる場合も

転倒は重症事故になる場合もあります。

転倒により「**骨折**」した割合は男女とも年齢階層が上がるに伴って増加します。

特に、50代の女性では転倒した**約7割**、60代以上の女性では転倒した**約8割**が骨折となっています。

女性の骨折箇所が多いのは「**手首**」です。次に「**ひざ**」、「**足首**」、「**骨盤部**」、「**足**」と続きます。



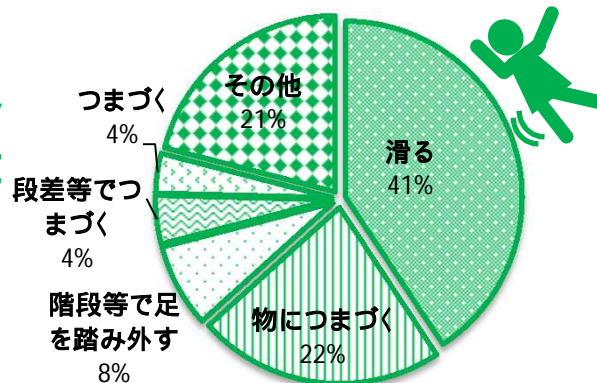
・沖縄県内におけるH26～H28(12月末現在)の労働者死傷病報告より

転倒要因

職場の転倒で多いのは、「**滑る**」です。

次に、「**物につまづく**」、「**階段等で足を踏み外す**」、「**段差等でつまづく**」、「**つまづく（障害物なし）**」と続きます。

では、その対策については**裏面をご覧ください**。



・沖縄県内におけるH28(12月末現在)の労働者死傷病報告より

転倒予防対策

転倒する要因を取り除いて、女性にやさしい職場環境をつくる

- 水濡れ・油分はこまめに拭き取る。改装などの際は床材や床塗装も考えてみましょう。また、濡れた床面での作業がある場合は、滑りにくい靴選びが大事です。
- 通路にものを置かない、在庫や用具、台車など所定の置き場を決めておく。職場の整理・整頓をしましょう。業務効率アップも期待できます。
- 通路の段差、継ぎ目、横断するコードを解消しましょう。直ぐに難しい時は、表示をして注意して通行するよう促しましょう。
- 両手がふさがる荷物の運搬は階段を避ける、台車を使う、複数で運搬する、小分けするなど、転倒リスクを避ける方法をとりましょう。
- 暗い通路には照明を確保しましょう。
- 「急ぐ・慌てる」ような、転倒リスクを高める環境をなくしましょう。

加齢も意識して、健康と体力づくりが大事

- 加齢に伴う身体機能の変化が、転倒やその際の重傷化リスクを高めることもあります。自分の体のことを見つめてみる。適切な生活習慣や体力づくりも大事です。

チェック

職場環境の転倒リスク簡易診断シート

沖縄労働局では、職場環境の転倒リスクと対策の必要度を可視化する「転倒リスク簡易診断シート」を作成しました。診断方法はカンタン！床がよく濡れているところ、通路にものが置かれているところ、凹凸があるところ、などの箇所数を入力すると、データ図になって結果が表示され、社内での説明資料としもお使いいただけます。あくまでも簡易診断ですが、対策を講じるきっかけになるかもしれません。

沖縄労働局ホームページ からダウンロードいただけます。
その他、転倒対策の情報を掲載していますので、ぜひ、お越し下さい。

沖縄労働局 職場での転倒防止対策

検索

転倒リスク簡易診断シート

第1回調査 平成28年1月18日

1 床が濡りやすい、よく濡れていることがある 箇所 箇所
2 荷物や台車が無造作に置かれている。コードが通路を横断している。出入口付近・通路角 箇所 箇所
3 床の凹凸や段差がある 箇所 箇所
4 台車などを使わないで荷物の運搬を行う 箇所 箇所
5 暗くて足下が見えづらい 箇所 箇所

転倒事故のリスク(対策の必要度)

調査項目

1. 清掃
対策を講じましょう。

第2回調査 平成28年2月17日

1 床が濡りやすい、よく濡れていることがある 箇所 箇所
2 荷物や台車が無造作に置かれている。コードが通路を横断している。出入口付近・通路角 箇所 箇所
3 床の凹凸や段差がある 箇所 箇所
4 台車などを使わないで荷物の運搬を行う 箇所 箇所
5 暗くて足下が見えづらい 箇所 箇所

転倒事故のリスク(対策の必要度)

調査項目

2. 整理・整頓
対策を講じましょう。

沖縄労働局労働基準部健康安全課

お問合せ 電話098-868-4402